

編集後記

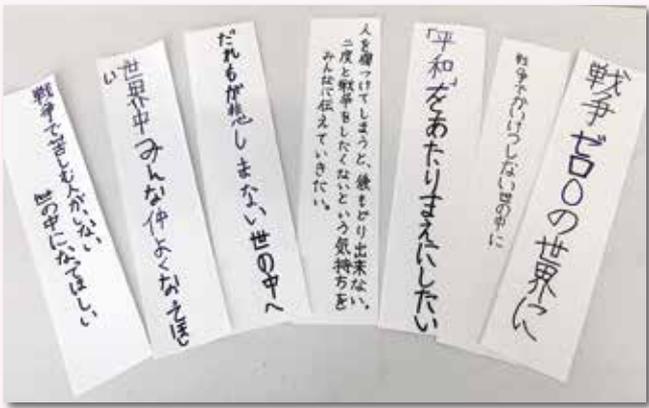
私たちは、戦争の歴史を通して、人は戦時下の異常な状況の中におかれた時に、冷静な判断が失われてしまふことを学んできました。戦後75年、日本では平和な時代が続いていますが、平和であるからこそ、平和への誓いを伝えていく必要があります。

また、「核兵器をそんなにたくさん作って、どうするの?」という子どもたちの問いかけは、同時に、次の時代を担う子どもたちから大人へのメッセージでもあります。ヒロシマ、ナガサキ、オキナワを忘れないのはもちろんですが、私たちは「三田」での「不戦の誓い」をしつかり伝えていく責任があることも忘れてはならないことだと思います。

令和元年度 三田市人権を考える会 ラブピース4コマまんがコンテスト 優秀賞作品

『ラブピース』

藍中学校3年(前年度) 竹山 詩緒里 さん



▲志手原小学校6年生のみなさんの平和への願い

全国一斉 「子どもの人権110番」強化週間

いじめ、体罰、児童虐待など、子どもをめぐるさまざまな人権問題について、電話相談をお受けしています。

8月28日(金)～9月3日(木)

8時30分～19時まで

※土曜日・日曜日は10時～17時まで

0120-007-110

(全国共通)

★相談は無料で、秘密は厳守します。



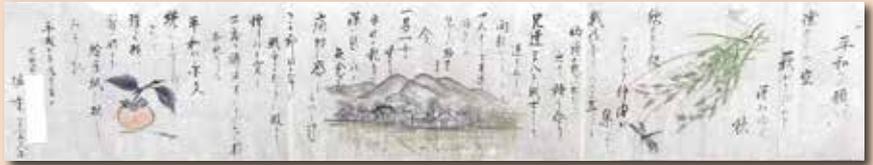
「(仮称)人と人の共生条例」の策定に向けて

第2回懇話会を7月17日に開催し、すべての人が自分らしく生きやすい社会の実現に向け、現状の課題や条例に盛り込む理念などについて意見交換を行いました。次回、第3回懇話会は、9月14日(月)の予定となっております。傍聴も可能です。手話通訳・要約筆記が必要な方は、8月28日までにお申込みください。詳細は、人権推進課まで。

部落差別の実態に係る調査の結果について

法務省は部落差別の解消の推進に関する法律第6条に基づき実施した「部落差別の実態に係る調査結果」をまとめ、法務省ホームページにおいて公表しています。

http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00127.html



タイムカプセル展

25年前から届いた平和メッセージ

戦後75年を迎えた本年、総合福祉保健センター敷地内に埋設されていたタイムカプセルを掘り起こしました。タイムカプセルには、戦後50年となる年に市民から寄せられた平和を希求するメッセージなどが封入されていました。

ここに、タイムカプセルに大切に保管されていた作品の一つを、ご遺族の許可を得て紹介します。

なお、タイムカプセル展は、市役所本庁舎1階ロビーにおいて8月3日から8月20日(20日は15時)まで展示しています。ぜひお越しください。(平和新聞・反戦平和・パネル展と同時開催)

〔絵手紙の要約〕 戦後五十年を迎えたある秋の夜、ウオーキング仲間が集まって幼い頃の思い出を語り合いました。兄達三人を戦士として送り出した両親のこゝろ、そして二人として生還し得なかつた悲しい結末等々... 今、私は、一男二女の母として、当時の親たちの深い悲しみと無念さが痛切に感じられるようになりまし。この節目の年に戦争のむごさに、改めて憎しみを覚え、二度と繰返すことのない様、世界の平和が永久に続きますことを強く願って、習い始めた絵手紙に託してみました。 平成7年9月 堀 重子(故人)



「地域の皆さんの思いに支えられて」

松が丘幼稚園教職員(前年度) 北中 憂衣 さん 三輪幼稚園(今年度)

地域と子どもたちの出会い (松が丘幼稚園での実践から)

松が丘幼稚園では子どもたちが地域との交流を通して、さまざまな人と親しむを持つて関わることが出来る機会を大切にしています。地域の人が幼稚園に来て一緒に季節の行事を楽しんだり、子どもたちが地域コミュニティに参加したりするなど、一年を通して交流をしています。七夕の時期には地域の人が幼稚園に大きな笹を持ってきてくださり、子どもたちがたくさん短冊を飾りながら七夕会を楽しみました。その中でも、竹ポックリやお手玉、コマ回しなどの伝承あそびは毎回盛り上がり、世代を超えた温かな関わりが見られます。また、秋には焼き芋大会で、地域の老人会が火を起してくださり、でき上がったおいしい焼き芋を一緒に食べ、子どもたちから笑顔が溢れました。

地域の中で自然に育った 感謝の気持ち

ある時、地域の人から広告紙で作ったコマや飛行機をたくさんいただいたきました。私は子どもたちと一緒にそのコマを使って遊びながら「お外で遊んでいる時や、幼稚園に来る時に地域のおじちゃんやおばちゃんに出会ったらご挨拶しようね!」と伝えました。翌朝のこと、私の受け持つクラスのAさんのお母さんからこんな話を聞きました。Aさんは昨日、幼稚園から車で帰る途中、ある家の前で車を停めてほしいとお母さんをお願いをしました。Aさんは車を降り、家の人に出会って、「いつもありがとう!」と感謝の気持ちで伝えたとのことでした。 Aさんがお礼を伝えたかった人は、普段からよく知っている人で、毎年春に花摘みに誘ってくださる地域の人でした。Aさんは、地域の人たちの優しさや温かさに触れる経験をしたことで自然に感謝の気持ちが生まれ、その気持ちを伝えたい一心だったのだと思います。私はこの話を聞いた時に自分のことのように嬉しい気持ちになりました。心が温まりました。そしてさまざまな人と関わることの大切さを改めて感じる事ができました。

優しさに触れて...

職場研修である先生から『人に優しくされた経験のある人ほど人に優しくできる』ということを教えていただきました。 多くの人たちに見守られ、愛され育った子どもたちは、人との関わりを大切にできる優しい人になり、長していくと信じています。私も子どもたちの思いに寄り添い、地域交流に取り組みながら子どもたちの心を育むと共に、助け合い、支え合う地域づくりに貢献できるように努めていきたいと思えます。